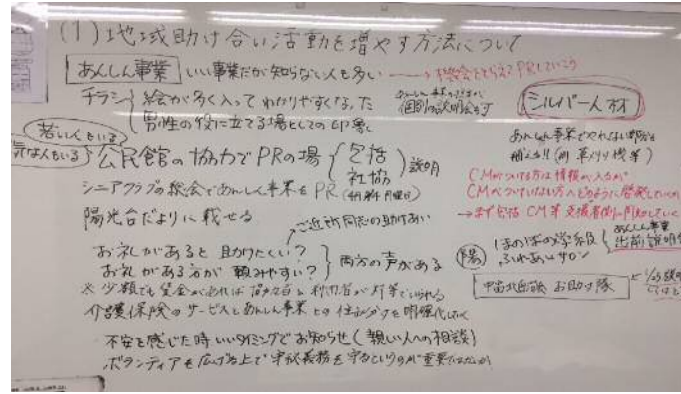


平成29年度 君津南地区 地域ケア会議 報告書



平成29年10月13日(金)、平成30年1月18日(木) 君津市生涯学習交流センターにて、「地域助け合いを増やす方法」「今後の地域ケア会議」について意見交換を行いました。

内容

平成29年10月に実施した、1回目の地域ケア会議では、平成28年度に検討した課題から、「閉じこもりがちな男性を社会参加に向けたための検討」と、「あんしん事業(社会福祉協議会)の協力会員を増やす方法について」というテーマで話し合いを行いました。あんしん事業の協力会員募集のチラシのリニューアルや、協力会員の養成に向けた取り組みの検討。あんしん事業の仕組みを知らない人もいたので、あらゆる組織であんしん事業のPRを進めていくと言ったことを話し合いました。

2回目の地域ケア会議では、各団体が「地域助け合いを増やす方法について」どういったことが出来るのかを報告し、具体的な取り組みについて話し合いました。

ご意見

●地域助け合いを増やす方法

- ・回覧で助け合いのしくみを周知しても、見た人が今、不安を感じていなければ素通りしてしまう。不安を感じている時に合うものを紹介できるよう、相談を受ける立場の民生委員や介護支援専門員、地域包括支援室が理解していることが必要。
- ・あんしん事業の協力会員募集のチラシについて、改良に向けての意見を出し合った。
- ・若い人や元気な人に活躍してもらうため、1月25日に予定している公民館利用者説明会で、ケア会議の取り組みとあんしん事業について、チラシ配布を行うことが決まった。
- ・介護サービス研究会に登録している事業所でもあんしん事業のPRが可能。
- ・陽光台のほのほの学級やふれあいサロンで、あんしん事業のPR説明会を実施する。
- ・シニアクラブの会合でも、あんしん事業の協力会員や利用会員を増やすためのPRが可能。

ご意見

●今後の地域ケア会議について

- ・高齢者を支えるための話し合いの場は引き続きあった方が良く思う。テーマを決めて、それに合うメンバーで集まりたい。
- ・移送について、地域の課題として考えて行く事も必要だが、解決に至るのは困難と思う。
- ・相談を受けた際に、その場で対応できないと思った時に他の場所を紹介して相談先をつなぐようにできたらいいと思う。
- ・空き家、引きこもり男性、一人暮らしで生活困難になる人などが今後さらに増えると思うので、隣近所への声掛けなど今のうちからできる事を対策として考えていけたらいいと思う。

まとめ

- 1月25日に公民館利用サークル向けの説明会で、あんしん事業やシルバー人材センター、中富お助け隊について紹介し、地域にある支えあいの仕組みについて確認し、協力者を募ることとする。
- 平成30年度の地域ケア会議の持ち方については、今回の意見をまとめ、開催時に地域包括支援室が招集する。

ご意見を参考にさせていただき、平成30年度の地域ケア会議を実施していきたいと思っております。



君津市地域包括支援室
Tel 0439-56-1732
君津市久保 2-13-1
君津市 保健福祉部
高齢者支援課